

|   |              |                         |             |             |         |
|---|--------------|-------------------------|-------------|-------------|---------|
| 2011-B  |              |                         |             |             |         |
| 拠出金・基金の名称:  |              | 平和のためのパートナーシップ(PfP)信託基金 |             |             |         |
| 種 別   |              | イヤーマーク      ノン・イヤーマーク   |             |             |         |
| 拠出先の国際機関名: 北大西洋条約機構(NATO)   |              |                         |             |             |         |
| 【所管官庁担当局課・室名】: 外務省欧州局政策課  |              |                         |             |             |         |
| 【当該任意拠出金の目的・用途等】  |              |                         |             |             |         |
| <p>中央アジア・コーカサス地域、アフガニスタン等においては、小型武器や不発弾、地雷の処理等が問題となっているが、現地の政府には、かかる問題に対処する予算や能力が不足している。そのため、NATOがその軍事的な専門知識を最大限に活用し、軍備管理・軍縮活動を適正な手段で安全かつ確実に実施してきている。平成24年度はタジキスタンの不発弾処理・武器弾薬管理能力強化プロジェクトに拠出。</p> <p>我が国は、こうしたNATOの事業の中から我が国にとっても大きな効果が見込まれるものを選定し、信託基金への拠出を通じてNATOに協力している。こうした協力は、国際平和の構築に積極的に貢献するものであるとともに、我が国とNATO及びその加盟国との関係のみならず、中央アジア・コーカサス諸国との関係強化の観点からも重要な取組である。</p>  |              |                         |             |             |         |
| 最近3年間の我が国支払額及びODA率  |              |                         |             |             |         |
| 単 位   | 邦 貨<br>(千 円) | 外貨1<br>(千ユーロ)           | 外貨2<br>(千 ) | レ ー ト       | ODA率(%) |
| 平成23年度  | 10,200       | 85                      | -           | 1ユーロ = 120円 | 0       |
| 平成22年度  | 10,988       | 82                      | -           | 1ユーロ = 134円 | 0       |
| 平成21年度  | 14,300       | 100                     | -           | 1ユーロ = 143円 | 0       |
| 【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】  |              |                         |             |             |         |
| <p>平和のためのパートナーシップ(PfP)信託基金においては、これまで3つのグルジア・プロジェクトを実施してきた。1つ目は2003年～2004年(総額130万ユーロ)、2つ目は2008年(50万ユーロ)、3つ目が2009年(180万ユーロ)である。我が国は3つ目のプロジェクトに対し計16万7千ユーロ(平成22年度に8万2千ユーロ、平成23年度に8万5千ユーロ)を拠出し、同プロジェクトは2012年10月に終了した。</p> <p>3つ目のグルジアプロジェクトにより、グルジアの爆発物掘りチームの教育・訓練を行い、爆発物の残骸を処理し、地雷の被害者のためのリハビリテーション・センター強化を図ることができた。</p> <p>現在、4つ目のプロジェクト(160万ユーロ)の立ち上げが進行中であり、目的は、2008年のロシアとの紛争の際、ロシア軍によって破壊されたゴリ郊外のグルジア軍武器貯蔵庫の修復に関するもの。爆発によって拡散された武器・瓦礫の一部の除去作業は行われているが、完全な除去作業と爆発物処理人員の追加的訓練に係る資金が必要とされている。</p> <p>グルジアはEU・NATO加盟を外交の優先課題としており、旧ソ連圏の中でも民主化・市場経済化を成功裏に進めているモデル国でもある。我が国が、基本的価値を共有するグルジアの安定化を安全保障面から持続的に支援することにより、コーカサス地域の安定を図ることは、我が国の国益に合致する。</p> |              |                         |             |             |         |